

小野 寺 研 太 日本女子大学准教授

分断の時代における民主主義の再考
ージェーン・アダムズの「生き方としての民主主義」

内 藤 葉 子 大阪公立大学教授

女性の政治化をめぐる闘争
ーマリアンネ・ヴェーバーの民主主義論を中心に

コメンテーター

水 戸 部 由 枝 明治大学教授

およそ一世紀前、アメリカとドイツで女性参政権が成立しました。第一波フェミニズム期の女性運動は女性参政権獲得運動として語られることが少なくありません。しかし、女性の政治参加や民主主義の在り方をめぐっては、多様な議論と実践が展開されていました。本講演会ではアメリカの福祉事業・平和主義・女性運動を担ったジェーン・アダムスと、ドイツ市民女性運動に携わったマリアンネ・ヴェーバーに焦点を当てます。両者の民主主義論を検討することを通じて、当時の社会において女性と民主主義がどのような関係として捉えられていたのかを考察します。民主主義の危機が指摘される今日、女性運動の思想的系譜を辿ることは、民主主義の意義と課題について改めて考える手がかりとなるでしょう。

2026

11.14 SATURDAY
14:00-17:00

対面受付開始 13:30 オンライン受付開始13:50 予定

対面とオンラインのハイブリッド開催 (Zoom 利用)

※本学のネットワーク環境の状況次第では、開催方法を変更する可能性があります。

参 加 費 無 料

会 場 大阪公立大学中百舌鳥キャンパス B1棟1F第1講義室

申 込 方 法 対面参加、オンライン参加希望者ともに、右記のQRコードよりお申込みください。

定 員 対面 50 名 オンライン 100 名
(先着順。定員に達し次第、申込締切前であっても受付終了とさせていただきます。)

申 込 締 切 2026 年 11 月 11 日 (水) 17 時

お 問 合 せ 先 右記のQRコードよりお問い合わせください。

Zoomのアドレスを11月12日(木)にお知らせいたします。この日にメールが届かない場合、11月13日(金)16時までに女性学研究センターにご連絡ください。

コーディネーター:内藤葉子(大阪公立大学)

共催:JSPS 科研費基盤研究C(23K11687)「公私領域の境界線を問うー政治・戦争・福祉に関わるドイツ市民女性運動の思想と実践」(研究代表者:内藤葉子)

20世紀前半のアメリカとドイツにおける女性運動を事例に

女性はいかに 民主主義を構想したか

